

# 特別賞 受賞作!!

本年度は第10回の記念に特別賞も選出しました!



## 『たべものやさん しりとりたいかい かいさいします』

シゲタ サヤカ 白泉社 1,200円+税

- 書店員からヒトコト!
- ♥このしりとり大会、まったく先が読めません!
- ♥最後のオチまで存分に楽しめます。
- ♥笑いあり、涙ありの楽しい絵本です。



# 第10回リブプラス絵本大賞 受賞!!

## なまえのないねこ

文：竹下文子 絵：町田尚子

## 過去の受賞作品

第1回 『うんこ!』  
サトシン/西村敏雄  
文溪堂 1,300円+税



バイタリティあふれるうんこくん、ダジャレ的な言い回しが、親子とも到大うけでした。

第2回 『ほげちゃん』  
やぎたみこ  
偕成社 1,000円+税



「ほげちゃん?」と気になったら手にとってください。家族の留守中に大暴れる悪ほげちゃんは私たちのストレスも発散してくれるかも。

第3回 『ちくわのわーさん』  
岡田よしあか  
ブロンズ新社 980円+税



なぜか大阪弁のちくわのわーさんがとっても愉快!最後のオチがなかなかシュールです。大人も子どもも楽しめる絵本です。

第4回 『だいすきぎゅっぎゅっ』  
フィリス・ゲイシャイトー/ミム・グリーン/  
デイヴィッド・ウォーカー  
岩崎書店 1,100円+税



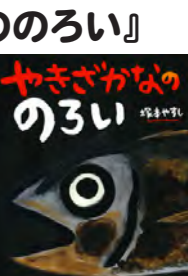
朝起きてから夜眠るまでいつでも「ぎゅっ」してもらえる安心感。お母さんの愛情が伝わってきます。幸せな絵本です。

第5回 『パンダ銭湯』  
tupera tupera  
絵本館 1,300円+税



パンダの秘密がここにある!ユーモアたっぷり小さな子から大人まで楽しめる絵本です。

第6回 『やきざかなののろい』  
塚本やすし  
ポプラ社 1,300円+税



魚嫌いの気持ちを冒頭から、ぎゅぎゅっとわしづかみ!!うなずきながら、笑いながら読める、魚嫌いの方に、もちろん魚嫌いじゃない方にもおすすめな1冊。

第7回 『いちばんしあわせなおくりもの』  
宮野聡子  
教育画劇 1,200円+税



やさしい絵でたいせつなことを教えてください。よむと涙がとまらなくなりました。

第8回 『おいしそうなしろくま』  
柴田ケイコ  
PHP研究所 1,300円+税



ああ〜!私もしろくまになりたい…。そんな気持ちにさせてくれる1冊です。

第9回 『だいぶつさまのうんどうかい』  
刈田澄子/中川孝  
アリス館 1,400円+税



張り切るほどに空回りするだいぶつさまがかわいらしい。最後はみんなでにっこり。

### 作者のおふたりから受賞のヒトコト

このたびは大賞に選んでいただきありがとうございました。店頭でこの表紙のキジトラを目にすると、作者というより、猫の里親探しをしているような気分になって、なんとなくそわそわしてしまう私です。とても性格の良い可愛い子なので、ぜひみなさま、おうちに連れて帰って、名前を呼んでやってください。

竹下文子

リブプラス絵本大賞、ありがとうございます。子どもの頃、本屋さんの絵本売り場は夢のような場所でした。好きな絵本を一冊だけ(たまに二冊)買ってもらえるのがとても楽しかったです。たくさんある中から自分で選んだ絵本は、今もわたしの宝物です。「なまえのないねこ」が、だれかの大切な一冊になってくれたら嬉しいです。

町田尚子

### 小峰書店 担当編集者からヒトコト!

- 書店員さんに選んでいただいたので一等賞、ありがとうございます。竹下さんが町田さんの絵に惚れ込んで原稿を書かれ、その原稿を町田さんが描きたいと思ってくださったことから始まった作品です。
- 実在の猫・犬が多く登場しますが、キジトラだけはモデルのいない「みんなのキジトラ」です。
- 可愛がっていただけましたら嬉しいです。

### 書店員からヒトコト!

- ねこちゃんが本当に欲しかったものに気付くシーンが胸にグッときます。
- 「そこにいていいんだよ」と存在を肯定される安心感があります。
- 思わずさわりたいくなってしまった!かわいらしい猫の絵に魅了されました!

### 『なまえのないねこ』(小峰書店)

竹下文子/文 町田尚子/絵 1,500円+税

商店街で暮らす1ぴきの野良猫は、八百屋や書店、パン屋などの猫が持つ「名前」に憧れている。お寺の猫に「自分で名前をつけよう」と言われ、名前を探すことに。野良猫が見つけた「ほんとうに欲しかったもの」とは?

2019  
LIBRO  
Children's BOOK  
Award

第10回  
入賞作品



『さかさまたんけんたい』  
すずき みほ 作  
偕成社 1,400円+税

●書店員からヒトコト！  
さかさまになると、いつもみているものがべつになにかにみえてくるんだって。さかさまになったら何がみえる？すぐに自分でも試せそうな内容でわくわくしてしまいます。



『れいぞうこのおくのおく』  
うえだ しげこ 作・絵  
教育画劇 1,100円+税

●書店員からヒトコト！  
ママのあるある!? 冷蔵庫の奥で忘れられてしまったチーズの奮闘する様子を描く楽しい絵本！うちの冷蔵庫にもいそいだなあ・・・



『パンダのパンやさん』  
岡本 よしろう 作・絵  
金の星社 1,300円+税

●書店員からヒトコト！  
どこか懐かしい下町の商店街のパン屋さんが舞台のえほん。ぱぱぱんだとこぼんだが、町のみんなにパンを配達してまわります。最後にできるパンが楽しい。



『おどりたいの』  
豊福 まきこ 作  
BL出版 1,300円+税

●書店員からヒトコト！  
こうさぎたちの表情が可愛くて、絵もとても綺麗なので、女の子にお薦めのえほんをきかれるとついついこれを案内してしまいます。



『みずとはなんじゃ?』  
かこ さとし 作/鈴木 まもる 絵  
小峰書店 1,500円+税

●書店員からヒトコト！  
身近にある水について子供も大人も一緒に考えてしまうとても興味深いお話です。これをキッカケに、限りある自然について触れる事ができればと思います。



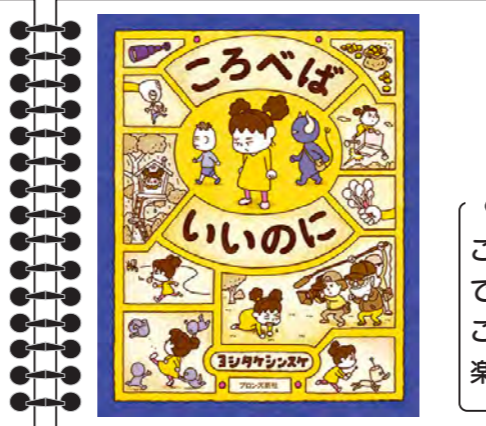
『オニのサラリーマン じごくの盆やすみ』  
富安 陽子 文/大島 妙子 絵  
福音館書店 1,400円+税

●書店員からヒトコト！  
妙に人間じみた鬼たちの盆休みを愉快地に描いた1冊! 軽快な話のテンポと、どことなく可愛くも思える絵も見どころです。



『ねえさんといもうと』  
シャーロット・ソルトウ 文/酒井 駒子 絵・訳  
あすなろ書房 1,300円+税

●書店員からヒトコト！  
いつも一緒にいたのに、ある日いもうとはそっとねえさんのいない世界にとびだします。世話をやいていたはずのいもうとがいなくなったねえさんは・・・幼い子の成長とそれを知った姉の気持ちが胸に沁みます。



『ころべばいいのに』  
ヨシタケ シンスケ  
ブロンズ新社 1,400円+税

●書店員からヒトコト！  
この本を読んで、私もまったく同じ思いでした。大人も子供も「イヤな気持ち」をこんなふうと考えられたら、毎日が楽しくなるかもしれない!

第10回  
LIBRO  
絵本大賞

リブロ・よむよむ・パルコブックセンター  
オリオン書房・PAPER WALL・Carlova360  
あゆみBOOKS・文禄堂

児童書担当者が選ぶ

最もおすすめしたい絵本

